

# ごみダイエットに挑戦!



豊かさや便利さを追い求めた二十世紀の私たちは、大量生産・大量消費・大量廃棄を繰り返し、限りある天然資源を大量に消費し、地球温暖化やオゾン層の破壊など地球規模の環境問題から、身近なごみ問題まで多くの課題を残してきました。

二十一世紀のこれからの私たちは、次世代に快適な環境の状態でバトタッチするため、自らの課題としてとらえ、行動していくことが大切です。

自分ひとりが頑張っても何の役にも立たないと思いませんか？  
これらの課題を解決するためにもごみを減らす必要があります。  
みなさん一人ひとりの取り組みでごみは必ず減ります。  
まずは、できることから始めてみませんか？

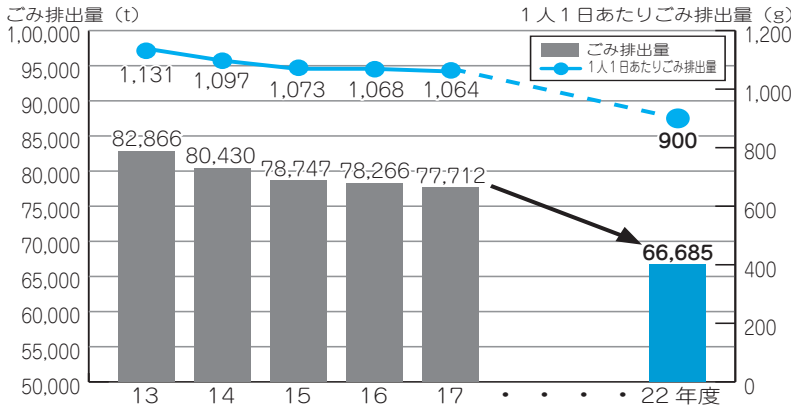
## 鳥取市の取り組み

平成17年2月に、「京都議定書」が発効し、我が国では、温室効果ガスの総排出量（基準年平成2年）を平成24年までに6割削減する目標達成に向けて産業・運輸・家庭などの各分野でさまざまな取り組みが進められています。

本市においても、第8次鳥取市総合計画に基づき、環境先進都市の実現をめざして、官民一体となったごみゼロの推進や地球温暖化防止に向けた総合的な環境施策の推進などに取り組んでいます。

これまで市が行ってきた取り

### 鳥取市のごみの減量化目標



組みと、市民のみなさんのご協力により、家庭ごみの排出量は、平成13年度の8万2866トンをピークに年々減少し、17年度には7万7712トンにまで減りました（左表参照）。

また、リサイクル率は平成13年度8・0割でしたが、17年度には17・4割まで上昇しており、みなさんの積極的な取り組みにより、減量化と再資源化の両方で成果が現れています。

しかし、その一方でごみ処理経費は増加傾向にあり、17年度には約30億円、市民1人当たり年間約1万5000円もの経費がかかっています。

本市では、循環型社会の形成をめざして、さらなるごみ減量化・再資源化を推進するため、ごみの分別徹底や有料指定袋制度の導入などの取り組みを行ってまいります。そして、平成22年度にはごみ排出量の目標値である1人1日当たり900gの達成をめざします。（17年度の1064gに対し約15g削減）

### 循環型社会形成のための3R

ごみダイエットを成功させるためには、「3つのR」を心がけた生活が必要です。

まず、一番大切なのが **Reduce**（リデュース…ごみを減らす）です。

ごみになるものを『買わない』『もらわない』ことで、ごみの発生を抑制します。

次に **Reuse**（リユース…

繰り返し使う）です。

一度使ったものをすぐに捨てるのではなく、そのまま何度も使用します。

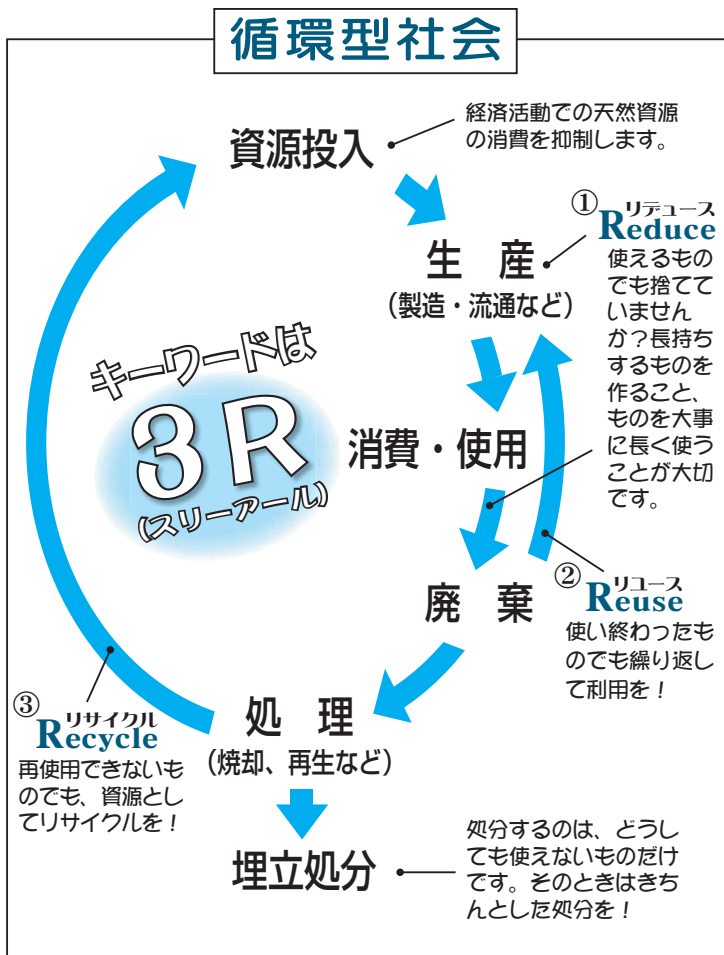
最後に **Recycle**（リサイクル…再び資源として使う）です。

どうしても繰り返し使うことができないものは、資源ごみとして分別することで、別の製品を作るための原料としてリサイクル（再生利用）することができま

今、一人ひとりの小さな努力が求められています。

『まず、ごみの発生をできるだけ減らし、買ったものは繰り返し使い、それでも捨てる必要のあるものはリサイクルする』といった、3Rに基づいた生活をみんなで心がけましょう。

資源に乏しい我が国が持続可能な発展を実現していくために、環境への負担が少ない『循環型社会』をめざしましょう。



今日から  
できる!

# 家庭での

# ごみダイエット大作戦!!



コマメに買い物袋を持ち歩きましょう

## 台所編

## 買い物編

は、石油に換算するとドラム缶で280万本分にもおよびます。そして、その約6割がごみとなっています。そのごみとなっているレジ袋を減らすためにも、出かけるときには「マイバッグ」を持参しましょう。

### ＼＼＼ 「レジ袋、いりません!」



国内ではレジ袋を削減する運動が各地で進められ、大手スーパーを中心にレジ袋有料化の取り組みが始まっています。日本では、1年間に305億枚ものレジ袋が消費されており、その量

今まで何気なく受け取っていたレジ袋を「せっかくなれるのだから:」断るのが恥ずかしい」とついつい受け取ってしまうのではなく、「レジ袋はいりません」とひとこと言ってみましょう。

また、マイバッグはわざわざ買う必要はありません。以前にももらったレジ袋を再び使うこともレジ袋のリユースになります。レジ袋をたんでかばんの中に入れておけば、いつでも使えて便利です。

レジ袋の削減は誰にでもできる身近な取り組みです。なるべくレジ袋をもらわないことを意識することによって、使い捨て

の生活習慣を見直してみてください。

必要のない割り箸やスプーンなども、もらわないようにしましょう。

### ＼＼＼

### 詰め替え商品や 簡易包装を!

洗剤など、身近なところに詰め替え商品はたくさんあります。ごみにならないでコンパクトにまとめられる「詰め替え用製品」を選ぶこともごみの減量につながります。また、過剰包装を断り、簡易包装を心がけましょう。少しの買い物なら、袋や包装ではなく、「シールで」と言ってみましょう。



### ＼＼＼ 生ごみは水切りを!

生ごみには、約7割もの水分が含まれています。

水切りをするだけで、ごみの量はかなり減らせます。水切りネットを使ったり、穴のあいたごみ袋の上からぎゅっと押し絞るなど、工夫をして水切りを徹底しましょう。

また、肥料として田畑へ還元したり、生ごみ処理機やコンポストを利用するのも、生ごみを減らすひとつの方法です。

料理を作るときは、なるべく食べられる分だけの材料で作りましょう。ごみの減量化はもちろん、衛生的で家計にとっても経済的です。

鳥取市では、生ごみ処理機器の購入に要する経費の3分の1の補助を行っています(2万円を限度)。詳しくは、とっとり市報5月号(20ページ)やホームページをご覧ください。



## その二

### エコクッキング!

地球に暮らす私たち一人ひとりが、環境のことを考えて、買い物・料理・後片付けをすることを『エコクッキング』といいます。

いつもなら捨ててしまう野菜の皮なども立派な食材です。人参の皮、大根の皮・葉、キャベツの芯、ブロッコリーの茎など、普段捨ててしまっているものを使って料理してみましょう。

野菜の皮をまとめて冷凍しておいて、スープやシチューで煮込んだり、きんぴらにしたり：アイデア一つで、おいしい料

理に大変身します。せつかく買ったのだから、100番使い切ってみましょう!  
それでも捨てなければいけないときは、余計な水分を吸わないよう、三角コーナーではなく、直接ごみ袋に入れましょう。

## ごみ捨て編

## その一

### プラスチックごみも小さくできる!

プラスチックごみは、容量が多くなりがちです。バラバラに入れるだけではなかなか小さくできません。同じ



こんなに大きかったものが...



重ねたりつぶしたりあるだけで、こんなに小さくなりました!

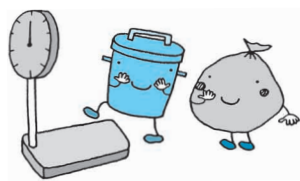
## その二

### 捨てる前に再確認!

ごみを捨てる前に、中身をよく見てみましょう。その中に資源ごみになるものが入っていませんか?

牛乳などの紙パックは、洗って開き、可燃ごみではなく、古紙へ。白色の食品トレイはプラスチックごみではなく、食品トレイの回収日に、それぞれ分別して出してください。みなさんの少しの努力でごみから資源に変身します。

やせたかな?...



## お願い

さらなるごみの減量化・再資源化を推進する有効な手段のひとつとして、本年10月1日から家庭ごみの有料指定袋制度を導入することになりました(詳しくは、とっとり市報5月号をご覧ください)。これにともない、以下の2点についてお願いします。

### ごみ袋の買いだめはしないでください

今使用している可燃ごみ指定袋は、本年10月1日以降は可燃ごみ袋としては使用できなくなります。買いだめは控えてください。

### ごみの駆け込み持ち出しはやめましょう

有料指定袋制度の開始直前には、ごみの駆け込み持ち出しが増加する傾向が見受けられます。分別をきちんとした上で、計画的に出してください。

■余った旧指定袋10枚と新指定袋1枚を引き換えします。詳しくはとっとり市報8月号でお知らせします。

期間：平成19年9月1日～平成20年3月31日(予定) 引換場所：市役所本庁舎、駅南庁舎、各総合支所ほか

問い合わせ先 市役所本庁舎生活環境課 ☎ (0857) 20-3218